

新国立劇場ニュース  
報道関係者各位  
(全2枚送付)

2026年4月25日  
公益財団法人 新国立劇場運営財団

## プティパ最後の傑作 『ライモンダ』が 新国立劇場で開幕！

本日4月25日(土)、プティパ最後の傑作といわれる古典バレエ『ライモンダ』が初日を迎えました。本プロダクションは、2004年に当時の芸術監督である牧阿佐美の振付・演出で初演され、朝日舞台芸術賞を受賞するなど好評を博した作品です。

牧元監督は『ライモンダ』のストーリーを普遍的な恋物語として見つめなおし、スピード感あふれるスペクタクルな舞台展開で描きました。ルイザ・スピナテッリの印象深い色彩の衣裳と装置、そしてアレクサンドル・グラズノフの美しく抒情的な音楽に合わせた、煌めく踊りの数々をご堪能いただけるプロダクションです。ゴールデンウィークのお出かけにぜひ新国立劇場へお越しください。

### 吉田都芸術監督よりメッセージ

新国立劇場バレエ団『ライモンダ』が4月25日より開幕いたします。

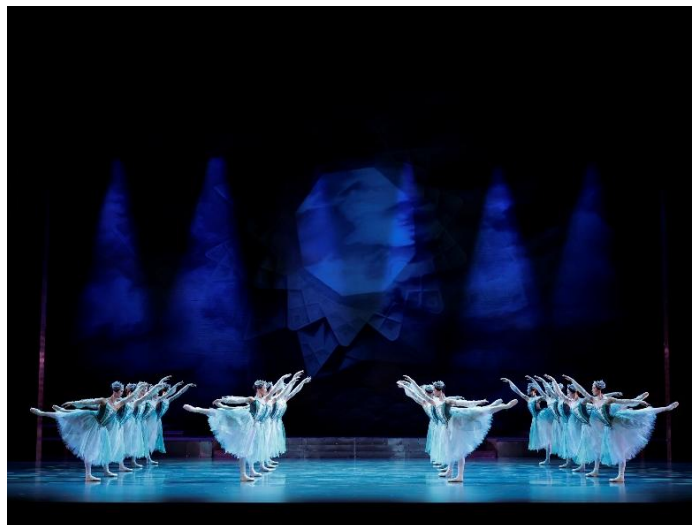
『ライモンダ』は古典バレエの礎を築いたマリウス・プティパ最後の傑作といわれ、新国立劇場では2004/2005シーズンに当時の牧阿佐美芸術監督が改訂演出したプロダクションを上演してまいりました。古典の様式美が詰まった大変美しいプロダクションで、バレエ団にとって大切なレパートリーのひとつです。

この度の上演にあたり、初演時に牧先生と作品をクリエーションされた主役のおひとりである、志賀三佐枝さんにゲストコーチとしてお越しいただきました。牧阿佐美版の『ライモンダ』は、愛した人には相思相愛の相手がいるという、いつの時代にも起こりうる普遍的な愛の物語として描かれています。初演に立ち返りつつ、一部演出を変更しながら『ライモンダ』という古典バレエの持つ普遍的な本質を受け継いでいけるよう、真摯に取り組んでまいりたいと思います。

美しく抒情的な音楽に合わせた煌めく踊りの数々、そして色彩豊かな衣裳と装置と、沢山の魅力が詰まったこの作品をぜひ劇場でご覧ください。



米沢 唯 (ライモンダ)  
福岡雄大 (ジャン・ド・ブリエンヌ)



撮影：瀬戸秀美

**公演概要**

2025/2026 シーズン  
バレエ『ライモンダ』

振付 マリウス・プティパ  
演出・改訂振付 牧 阿佐美  
音楽 アレクサンドル・グラズノフ  
美術・衣裳 ルイザ・スピナテッリ  
照明 沢田祐二

指揮 アレクセイ・バクラン／冨田実里  
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

出演 新国立劇場バレエ団

**【公演日程】**

2026年

4月25日(土) 14:00  
4月26日(日) 13:00/18:30  
4月28日(火) 18:30  
4月29日(水・祝) 13:00/18:30  
5月1日(金) 18:30  
5月2日(土) 13:00/18:30  
5月3日(日・祝) 14:00

会場：新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結）

予定上演時間：約2時間55分  
（プロローグ/第1幕 60分・休憩 25分・第2幕 35分・休憩 20分・第3幕 35分）

報道関係者各位におかれましては、一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。